

テクノロジーで創る モビリティ社会

～ヒューマンファクター研究、先進安全・自動運転技術動向、ITSを中心に～

経済産業省による、第四次産業革命をリードする「新産業構造ビジョン」策定に向けた最新の議論を紹介した後、気鋭の研究者が、AIやIoT、ビッグデータをいかに融合させ、社会受容性を考慮した次世代モビリティに活かすのか、その在り方を論じます。また、その際必ず課題となるヒューマンファクターについて、自動車ヒューマンファクター研究における第一人者より、商用化を見据えた取り組みを紹介します。

日時

平成29年 1月 31日 火

13:30～17:30

(開場 13:00)

場所

広島グランドインテリジェントホテル

2階 芙蓉の間(広島市南区京橋町1-4)

広島駅南口徒歩3分 裏面に案内図あり

定員

100名 (※定員になり次第、締め切らせていただきます。)

参加費
無料

プログラム

開会挨拶(13:30～13:40) 中国経済産業局 地域経済部 参事官(自動車・航空機・産業機械担当) 宅見 幸一

特別講演(13:40～14:40)

「新産業構造ビジョン」 ～第四次産業革命をリードする日本の戦略～

経済産業省 経済産業政策局 産業再生課 課長補佐 神田 啓史氏

「第四次産業革命」とも呼ぶべきIoT、ビッグデータ、ロボット、人工知能等の技術革新を踏まえた新たな経済社会システムの姿を示す、経済産業省の「新産業構造ビジョン」策定に向けた最新の議論を紹介する。

講演①(14:50～15:50)

「自動運転の動向と次世代モビリティ」

東京大学 生産技術研究所 教授 須田 義大氏

センシングやAIの進展により、自動車の自動運転が現実的になってきた。IoT、ビッグデータの融合により、安全・安心や快適性の飛躍的向上、省エネルギー・低環境負荷と高齢社会のモビリティも解決したサステイナブルな交通システムの実現が期待される。社会受容性を考慮したエコシステムを含めた最近の動向と次世代モビリティの在り方について紹介する。

講演②(16:00～17:00)

安全で楽しいクルマ社会実現のための ヒューマンファクター研究

国立研究開発法人 産業技術総合研究所

自動車ヒューマンファクター研究センター 研究センター長 北崎 智之氏

我が国において、高齢者の交通事故の問題は慢性的な課題となっている。また、若年層を中心としたクルマ離れによって日本の市場は縮小の一途であり、運転する楽しさを再構築することが必要となっている。一方、自動運転技術開発が激化する中、ヒューマンファクターの課題が商用化のための大きなカギとなってきた。これらの課題に対する取り組みを紹介する。

質疑応答(17:00～17:30)

参加申込

裏面申込書をご参照ください。

※講演順序や時間、内容などを、都合により予告なく変更する場合があります。
※講演会の撮影・録画・録音等は禁止とさせていただきます。

参加申込書

必要事項を記入の上、平成29年1月27日(金)までに下記申込先に
FAXまたはEメールでお申込みください。

日時

平成29年1月31日(火)
13:30～17:30

場所

広島グランドインテリジェントホテル
2階 芙蓉の間
(広島市南区京橋町1-4)



会社・団体名				
住所				
連絡先	ご担当者様 氏 名		ご担当者様 所 属	
	TEL		FAX	
	E-mail			
参加者	所属・役職		氏名	

※定員になり次第、受付を修了させていただきます。
※この申込書に記載された個人情報は、主催機関および講師等で共有いたしますので、あらかじめご了承ください。
なお、当該情報は 個人情報保護法に従って適切に取扱い、法令に定める場合を除き第三者に提供することはありません。

■ お問合せ・お申し込み先

一般財団法人ひろぎん経済研究所 経済調査部 担当:垣崎(かきざき) 武田(たけだ)
TEL:082-247-4958 FAX:082-242-8358 / E-mail:chousa@hirogin-ri.jp